

令和 8 年度 矢賀学区まちづくり委員会 事業計画書

1 今年度の目標

・地域の関係者が、地域主体のまちづくりを推進していくことにより、地域の実情に応じた諸課題を解決することができる持続可能な地域コミュニティを実現していく。
・活動拠点を開設し、事務局員を常時配置し、誰もが気楽に立ち寄れ、地域課題などを相談し合えるような場にする。
・問題提示や解決、事業実施については、LINE 等により、全員が情報を共有するほか、広報誌やホームページを活用し、地域からの要望などが受け止められるよう ICT 環境を整備していく。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	防犯カメラ維持	(13) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	矢賀学区内に設置してある防犯カメラについて、犯罪抑止及び犯罪が起きた時の確認に使用されている。この防犯カメラを今後も持続的に設置できるよう、維持管理をし、地域住民が安全で安心して暮らせる環境を継続させる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・防犯カメラに記録された映像が必要な事態が発生した時に、視聴できる環境を整えておく。 ・防犯カメラが地域内にあることで、犯罪抑止につながる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・地域内で犯罪が発生した場合に、犯罪者の特定等につながる。 ・カメラを設置することにより、犯罪抑止の効果が期待できる。	

1 事業名	自主学習支援	(13) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 7 月 ～ 令和 8 年 8 月	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	延べ 100 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・ 夏季休業に、児童生徒等が自主学習できる場を提供し、学習指導する要員を配置する。 ・ 指導については、広島市立二葉中学校生徒 3 名と学生有志、地域住民が得意分野を担当する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 長期休みに規則正しい生活をする習慣をつける。 ・ 気軽に質問ができる学習の場を提供し、学生や地域住民と交流を図りながら、子どもたちの健全な育成につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 学習環境を整えることで勉強に関心をもち、学力向上が期待できる。 ・ 自主学習の習慣をつけることができ、健全な成長を図る。 ・ 中学生が支援活動に参加することで、ボランティア意識の向上が図られる。	

1 事業名	お楽しみ企画	(13) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月 23 日	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	延べ 50 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・チラシを作成し、HP や公式 LINE や地域内の掲示板に掲載するなどして広報を行う。 ・広島大学の学生を講師として呼び、レゴのワークショップを行う。また、ジオラマの見学、フリースペースを作り、好きに作成してもらうコーナーも作る。三部制にして各 10 名ずつ募集する ・受付等は地域住民が担当する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・夏の子どもたちの長期休暇の経験の一つとする。 ・昨今、ゲームや SNS の利用が増えている子どもたちに実際に手指を使って細かい作業をする事の楽しさ、難しさを体験してもらう。 ・子どもたちに大学生という年齢の近い大人と交流をしてもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・友達と地域で遊ぶことにより、地域への愛着が生まれる。 ・低学年は保護者同伴の為、希薄になりつつある保護者同士の交流の場になる。 ・大学生が子どもたちと関わる様子を見て、子どもたちの社会性が育まれる。	

1 事業名	ふれ愛・イン・やが	(13) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月 21 日	
(2) 実施場所	矢賀小学校	
(3) 参加者数	400 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・チラシを作成し、ホームページや掲示板等を活用して広報する。 ・ふれ愛・イン・やがに参加し、スポーツ体験行事や工作・ゲームの場を設け、学校・地域との交流を深める。 ・事業の実施に当たり、実施内容の検討を小学校等と連携して行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・地域住民の地域愛を向上させ、人間性豊かな人材育成に役立てる。 ・体験型のイベントにより、豊かな個性と創造力を育てる。 ・工作遊びの楽しさを知る。 ・矢賀小学校と地域の合同行事を今後も継続していく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・子どもたちが地域住民と接触することで、地域愛を感じ、人間性豊かな人材育成に役立つ。 ・子どもたちが工作やゲーム等を体験することで、豊かな個性と創造力が高まることにつながる。	

1 事業名	各町内会ラジオ体操実施	(13) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 7 月 ～ 令和 8 年 8 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内（各町内会で実施）	
(3) 参加者数	200 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会、各町内会	
4 取組内容	・町内会ごとに、夏休みの期間、朝のラジオ体操を行う。 （対象は、児童・生徒に限らず、大人を含めた参加希望の全町民とする） ・参加者に飲料等を配付し、熱中症対策を行うとともに、参加のモチベーションにつなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・子どもたちは夏休みに入り、毎日の登校がなくなるが、規則正しい生活習慣を維持するために、早朝のラジオ体操を、町内会ごとに開催し、早寝・早起きの習慣を維持させる。 ・児童・生徒に加え、お年寄りを含めた大人も参加することにより、地域全体の健康増進とあいさつなどによる地域の活性化につながる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・子どもたちが規則正しい生活を継続でき、早寝・早起きの習慣作りに寄与できる。 ・児童・生徒だけでなく、お年寄りを含めた大人も参加することにより、地域全体の健康増進のほか、朝のあいさつなど地域の活性化にも寄与できる。	

1 事業名	矢賀学区だより発行	(13) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	180 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・毎月の学区だよりで、読者の意見や投稿を収集しながら、編集委員メンバーで内容を検討していく。 ・基本的な内容は、地域の行事予定や行事の実施報告等を掲載する。 ・編集委員メンバーの意向を踏まえながら、可能な範囲で取材等を実施していく。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・地域内の情報を掲載し、住民の意識向上を図る。 ・地域内外住民が矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史や文化などについて、情報収集したり訪ねたりできる窓口を作る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・情報を共有化することにより、地域内行事に参加者が増え、地域活動が活性化する。 ・矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史、文化を知ってもらい、矢賀の魅力を地域内外の住民の知ってもらうことができる。	

1 事業名	HP 運営	(13) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	10 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・既存のホームページを全面リニューアルする。 ・地域内外に対する窓口として機能するように、コンテンツを広げていく。 ・公式ラインを運用し、地域住民が様々な媒体で広報を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・全面リニューアルにより、より見やすく、入りやすく、親しみやすい HP にする。 ・地域内の情報を掲載し、住民の意識向上を図る。 ・地域内外住民が矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史や文化などについて、情報収集したり訪ねたりできる窓口を作る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・情報が共有化されることにより、地域内行事に参加者が増え若者の居住定着化が見込まれる。 ・矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史、文化を知ってもらい、矢賀の魅力を地域内外の住民の知ってもらうことができる。	

1 事業名	パソコン教室	(13) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・ I C Tに関する研修や矢賀地区のまちづくりを担う後継者を育成する研修を開催する。 ・ 研修の頻度は年 2 回を目標とする。 ・ Canva、Zoom などの使い方講習。日常のお悩み相談室を開催。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 矢賀学区の人材育成や地域のニーズに応える研修をすることで、地域が活気づき住民同士のつながりを強化し、矢賀学区のまちづくりを担う人材が増えることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） まずは ICT に関する研修をすることで、地域のニーズを満たし、地域が活気づくことが期待される。また、継続的に行うことで、認知度や信頼感を得て、徐々に参加する住民が増えることが期待される。	

1 事業名	矢賀フェスタ 2026	(13) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 10 月 3 日	
(2) 実施場所	矢賀小学校	
(3) 参加者数	400 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会、矢賀学区連合町内会、 矢賀学区社会福祉協議会、矢賀小学校校庭開放委員会、東消防団矢賀分団	
4 取組内容	・従来開催していた「盆踊り大会」に代わる事業として取り組む。 ・矢賀学区内の住民が集い、楽しめる場にする。 ・「やが和太鼓クラブ」の演奏のほか、踊りなどの出し物を計画する。 ・矢賀学区まちづくり委員会の協力団体に呼び掛けて、出店などの協力依頼をする。 ・実施に際しては、チラシなどで全地域内に参加を呼びかける。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・盆踊り大会を開催しないことにより、矢賀学区内全住民（幼児から高齢者）を対象とした憩いの場になる機会を継続して確保するため。 ・地域の活動団体の活動機会を創出し、メンバーの活動意欲向上を図るとともに、メンバーの増員に寄与する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・事業を開催する役員等と、町民が交流することにより町民との意思の疎通が図れるとともに地域の活性化が見込まれる。 ・地域の活動団体の活動機会を創出し、メンバーの活動意欲向上を図るとともに、メンバーの増員に寄与できる。	

1 事業名	子どもの居場所づくり	(13) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 6 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会、矢賀学区民生委員会	
4 取組内容	・ 矢賀学区の小学生から高校生を対象にした、子どもたちの居場所「やがっ子のへや」を開催する。 ・ 参加する子どもは、勉強をしたり、遊んだりする。 ・ 毎週木曜日 14 時 30 分～17 時 00 分を開場する。 ・ 見守りは有志スタッフで担当する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 子どもたちの居場所を提供することにより、子どもの安心で安全な居場所を確保する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 放課後、行き場のない子ども達の安全が確保できる。 ・ 子ども同士がともに過ごすことで、思いやりなどが育まれる。	

1 事業名	新入生見守り	(13) 事業中(11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 8 年 5 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会	
4 取組内容	・ 矢賀小学校に入学した新 1 年生の一斉下校を見守る。 ・ 見守りは地域住民の有志を募り、学区内の様々道路（交差点や横断歩道）で行い、安全に下校できるようにする。 ・ 新入生の見守りと併せて、地域住民等に声をかけ、地域住民全体を見守る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 登下校に不慣れな新 1 年生の登下校を見守り、児童の安全を確保する。 ・ 地域住民が様々な地点に立つことにより、地域全体の安全や犯罪抑止に寄与する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 見守られることにより、地域の大人たちとの交流が深まり、地域愛につながる。 ・ 新 1 年生をはじめ、地域住民の安全や犯罪抑止に寄与できる。	

1 事業名	子ども 110 番の家訪問	(13) 事業中(12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会、矢賀学区青少年育成協議会	
4 取組内容	・ 矢賀小学校の児童生徒を対象に、こども 110 番の家を訪問する。 ・ 「見守り活動中」といったプレートを作成し、学区内に複数掲示する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ こども 110 番の家の場所を確認し、いざという時に備える。 ・ こども 110 番の家では、子どもの見守りの自覚を促す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 地域全体で児童の安全を見守る体制の充実が図られる。 ・ こどもが有事の際に、気兼ねなくこども 110 番の家に逃げることができる体制を整える。	

1 事業名	駅前花壇美化活動	(13) 事業中 (13) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀駅前花壇	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	矢賀学区まちづくり委員会、矢賀学区公衆衛生協議会、やがソフトボール少年団	
4 取組内容	・ 矢賀駅前の花壇を整備する。 ・ 有志を募って矢賀学区公衆衛生協議会が中心になり管理する。 ・ 年 2 回の植え替えは全員で行う。夏場の水やり（木曜日、日曜日）は有志メンバーと矢賀ソフトボール少年団で担当を決め実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 矢賀駅前の花壇を整備することにより、矢賀の第一印象を明るいものとし、矢賀の魅力を高める。 ・ 地域の美化意識の向上に貢献できる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 矢賀の交通の窓口である矢賀駅前を花で彩ることにより、地域内外の住民が矢賀に明るい印象を持つとともに、魅力を高めることにつながる。 ・ 地域の憩いの場を設けるとともに、美化意識の向上になる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	多世代カフェやがぼかぼか	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	矢賀中央集会所を利用して、誰でも楽しんで過ごせる居場所をつくる。